

講演 「コロナ後の子どもの変化と体験活動の重要性」

講師 北海道文教大学人間科学部地域未来学科 教授 中田和彦 氏



公立小学校教諭を振り出しに、北海道教育庁の社会教育主事、国立青少年教育振興機構の次長、所長、公立小学校の校長など、様々な現場で子どもたちの体験活動に関わってきました。その経験の中から、体験活動の重要性や課題等についてお話いただきます。(留萌市と苫前町に居住の経験あり)

パネルディスカッション

テーマ 「体験活動活性化のために大人がしなければならないこと」

パネラー ・北海道文教大学 教授 中田和彦 氏 (講演に引き続き)

・自然考房 代表 鈴木宏紀 氏

・ NPO法人 o c h i b o 白川美穂 氏



宇都宮大学農学部卒 国内外で環境教育に携わり
国立日高青少年自然の家で体験活動コーディネータ
として勤務。2018年独立開業、自然ガイド
体験ツアーによる観光まち作りに取り組む



東京農業大学農学部卒 経営コンサルタント会社、登別市
ネイチャーセンター(登別市役所)を経て、NPO法人
モモンガくらぶ勤務。事務局長を兼任し自然体験活動
指導、子育て支援などに従事。2024年よりフリーランス

会場 羽幌町立中央公民館 0164-62-1178 苫前郡羽幌町南6条2丁目16-4

日時 令和6年11月23日(土) 開場 13時

13時15分～講演 14時30分～16時パネルディスカッション

令和6年11月24日(日) 開場 8時50分

9時～ 分科会 テーマ①「地域における子供たちの体験活動の現状」

テーマ②「体験活動を行う地域コミュニティの現状」

11時～ 全体会 (分科会報告)

参加費 無料 当日会場に直接お越しくください(会場には80台の駐車場あり)

参加対象 子ども会育成者・指導者 青少年団体関係者 社会教育関係者 PTA 関係者
地域における各種団体関係者 学校関係者 保育園・幼稚園関係者
子育て中の保護者の皆さん 子どもの活動に関心のある方

主催 一般社団法人北海道子ども会育成連合会 公益社団法人全国子ども会連合会

申込・問い合わせ先 一般社団法人北海道子ども会育成連合会 電話:011-271-4152

(事前申込は必須ではありません、会場に直接お越しくください)

後援 文部科学省 こども家庭庁 北海道 北海道教育庁 北海道社会福祉協議会 羽幌町教育委員会

(予定) 北海道新聞社 毎日新聞社北海道支社 朝日新聞北海道支社 読売新聞北海道支社 NHK 旭川放送局 北海道放送
札幌テレビ放送 北海道テレビ 北海道文化放送 テレビ北海道

◇この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。